

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	56	}	15-8	}	43	市川市立
			10-15			
			15-9			
			16-11			
						第八中学校 (市川・浦安)

【評】

関東大会をかけた一戦。序盤、お互いにハーフコートマンツーマンでスタート。昭和学院中は、激しいディフェンスからボールを奪い、⑥大城の力強いドライブや⑤古川の3Pで得点を重ねる。対する市川八中は、巧みなスクリーンプレイで④松野らを中心にオフェンスを展開し、得点していく。

2Q、昭和学院中はハイローのプレイから⑦花島のインサイド、ドライブでリードを広げる。市川八中は粘り強いディフェンス、⑥廣瀬、⑦大川のオフェンスリバウンド、⑮加々美の3Pでその差を縮める。

後半、昭和学院中は⑥大城、⑦花島のドライブ、④砂川のポストプレイで徐々に差を広げていく。4Q、市川八中はオールコートマンツーマンの激しいディフェンスや⑥廣瀬、⑦大川のリバウンドからの速攻で得点を重ね、1点差に詰めよる。しかし昭和学院中は、落ち着いたバスケットを展開。⑤古川、⑥大城が1on1でファウルをもらい、フリースローを確実に沈めていく。試合は昭和学院リードのまま終了。最後まであきらめずに、王者昭和学院中にあと一步のところまで迫った市川八中に、会場から大きな拍手が送られた。

〔女子準決勝〕

市川市立 第七中学校 (市川・浦安)	46	}	4-24	}	69	市川市立
			5-24			
			14-15			
			23-6			
						第三中学校 (市川・浦安)

【評】

同地区同士の準決勝。先制点は市川三中⑦鈴木のミドルシュート。市川七中は⑬石倉のドライブで得点。市川三中は、素早いパス回しから④木内のアウトサイドシュート、⑮石橋のシュートで得点を重ねる。対する市川七中は、⑭小関のドライブ、④吉田のゴール下で攻める。後半に入り、市川七中はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、積極的にプレッシャーをかけて相手のミスを誘い速攻を出す。④吉田の気迫あふれるディフェンスを後押しするかのごとく、⑭小関、⑬石倉が得点していく。市川三中はスクリーンプレイからの2対2で、得点を重ねる。

4Q、市川三中は⑤佐藤が鋭いパス、ドライブ、フリースローなどで得点を重ねる。市川七中は、オールコートでの激しいプレッシャーからボールを奪い、全員で走りシュートにつなげるオフェンスを展開し点差を縮めていく。後半に入り、市川七中が追い上げを見せるも、試合終了。市川三中が決勝に駒を進めた。最後まであきらめず走った市川七中の健闘を称えたい。

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	72	}	25-14	}	62	市川市立
			14-15			
			17-20			
			16-13			
						第三中学校 (市川・浦安)

【評】

昭和学院中はハーフコート、市川三中はオールコートマンツーマンでスタート。昭和学院中は⑥大城、⑦花島のドライブで得点。対する市川三中は④木内、⑮石橋を中心に得点。序盤、昭和学院中がリバウンドを制し、リードする展開。2Qに入ると、市川三中はスクリーンを巧みに使い④木内、⑤佐藤の3Pで何とか食い下がる。

後半にはいると、市川三中は④木内、⑩田丸がレイアップシュートを確実に決め、徐々にその差を縮める。3Q終了間際、市川三中④木内がバスケットカウントをとり7点差とする。4Qは互いに速い攻め合いとなるも、昭和学院中⑤古川がフリースローを確実に沈めるなど、落ち着いた試合運びでその差を縮めさせない。市川三中は、最後までシュートを果敢に狙うも、試合終了。昭和学院中が総合体育大会11連覇を成し遂げた。

敗れはしたものの、市川三中の関東大会での活躍を期待したい。

〔男子準決勝〕

千葉市立	46	$\left\{ \begin{array}{l} 13-9 \\ 4-6 \\ 14-5 \\ 15-11 \end{array} \right\}$	31	船橋市立
草野中学校 (千葉)				船橋中学校 (船橋)

【評】

関東大会出場をかけた準決勝。お互いにハーフコートマンツーマンでスタート。立ち上がりから草野中は⑦田中、⑩百目木を中心にインサイドをせめて得点を重ねる。一方船橋中もタイムアウトを取り④市場を中心にオフェンスを展開し、リードを許さない。2Q、互いに激しいディフェンスで一進一退の攻防が続く。草野中は、巧みな個人技からアウトサイドシュート、ミドルシュートを放つも、リングに嫌われ得点につながらない。対する船橋中は④市場のドライブからの得点が止まらず、流れをつかむ。

草野中2点リードで迎えた後半、船橋中は④市場がドライブで得点、試合を振り出しに戻す。草野中も⑩百目木がバスケットカウントをとり、再びリードする。そのまま迎えた4Q、船橋中は、オールコートマンツーマンで流れを取り戻そうとするも、最後までリードを守りきった草野中が決勝に駒を進めた。最後まで果敢にゴールを狙い続けた船橋中の選手たちに拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

船橋市立	63	$\left\{ \begin{array}{l} 15-12 \\ 19-19 \\ 10-18 \\ 19-19 \end{array} \right\}$	68	松戸市立
習志野台中学校 (船橋)				第一中学校 (松戸)

【評】

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。両チームとも動きが硬くリズムに乗れない。松戸一中はスクリーンを使ってのインサイドプレイ、習志野台中は個々の個人技を生かしたドライブを中心に攻撃を組み立てた。

2Qに入り、松戸一中は⑧山崎の連続3Pで流れをつかみかけるも、習志野台中④天野の3Pや⑦野上のドライブなどで主導権を譲らず、一進一退の攻防が続く。

後半に入ると松戸一中は④川鍋を中心に攻撃を組み立て、⑧山崎、⑫吉田のシュートで逆転に成功。習志野台中も④天野のドライブで食い下がる。4Qに入ると松戸一中は⑧山崎や⑫吉田の高さを生かしたプレイで得点を重ねる。一方、習志野台中は⑦野上、④天野が果敢にドライブを試み、逆転に成功するも、最後には松戸一中⑧山崎がミドルシュート、フリースローを確実に決めリードを奪い返して試合終了。松戸一中が決勝に駒を進め、関東大会出場を決めた。最後まで粘りを見せた習志野台中の健闘を称えたい。

〔男子決勝〕

千葉市立	73	$\left\{ \begin{array}{l} 27-11 \\ 12-17 \\ 16-12 \\ 18-9 \end{array} \right\}$	49	松戸市立
草野中学校 (千葉)				第一中学校 (松戸)

【評】

両チーム共にハーフコートマンツーマンからスタート。激しいディフェンスから互いに流れをつかもうと試みる。先取点は草野中⑤田中の3P。さらに④大橋のドライブ、⑦田中のゴール下で連続得点。草野中がリードする展開。松戸一中も④川鍋の3Pや⑫吉田のゴール下で反撃。2Qに入ると松戸一中もリズムを取り戻し、④川鍋がレイアップ、ジャンプシュートを決めて踏ん張る。草野中も④田中、⑩百目木の個人技で得点、一進一退の攻防となる。

後半、ペイントエリア内での攻防が激しさを増し、草野中は⑯押山のポストプレーや④大橋のドライブが光り突き放しにかかる。松戸一中も⑫吉田がゴール下のディフェンスを頑張り、⑧山崎の多彩な攻撃で得点し流れを渡さない。4Q、草野中は⑤田中のバスケットカウント、④大橋、⑯押山、⑨斉藤らの合わせのプレイで連続得点、流れをたぐり寄せる。松戸一中も懸命なディフェンスで粘るが、草野中が落ち着いたゲーム運びで支配し、総合体育大会初優勝を飾った。両チームの関東大会での活躍に期待したい。